

いきいき働けるって すばらしい

株式会社トモ

住所：松阪市広陽町43-2 TEL 0598-60-0111

今回は、平成21年度障がい者雇用優良事業所 社団法人三重県雇用開発協会会長表彰を受賞された、株式会社トモです。

まず、会社の概要について教えてください。

当社は、三重県内の受託給食業務を主体として、医療機関や福祉施設等の食堂の運営や、企業、学校や老人ホーム等の給食業務を行っています。当営業本部では三重県南部での事業展開を行っており、70の事業所で1日約2万5千食を提供しています。

障がい者の雇用は、身体、知的、精神等の区別なく積極的に進めており、現在、営業本部では24人の障がい者を雇用し、調理補助、食器洗浄、データ入力や商品仕分け等の業務についてもらっています。

障がい者雇用を積極的に進められているのはなぜですか。

事業展開が進み、常用労働者数の増加により、障がい者の雇用率が適用されたことを契機として、「企業として、障がい者雇用の面でも地域社会に貢献しなければならない」という社長の考えにより、本格的な障がい者雇用を開始しました。ハローワーク主催の障がい者就職面接会にも積極的に参加し、特別支援学校等からの受け入れも行うなど、継続して障がい者の雇用に努めています。

また、当社は県内の広い範囲に事業所が点在しているため、障がい者の職場を通勤可能な範囲で調整することができ、このことも、障がい者の雇用拡大の要因となっています。現在、この給食業の特性を生かして、業界としても障がい者雇用を拡大していこうという動きもあります。

従業員の方の障がい者雇用に対する理解を深めるため、どのような取組をされていますか。



物流センター（仕分け業務）の様子

初めて精神障がい者を雇用する際、まず行ったのは、障がい者雇用を進める意義や考え方をはっきり定義することでした。企業として果たすべき責任について、会議やミーティングでの説明や社内報への掲載等を通して、繰り返し従業員への周知を行い、従業員の理解と協力を求めました。これらの呼びかけを粘り強く続けることにより、経営幹部、事業所責任者、従業員が一体となって障がい者雇用を理解し、互いに協力し合い進めようという「三位一体の理解と協力」の体制を整備してきました。

現在も、私（営業本部部長）が各事業所への訪問やミーティングを定期的に行い、現状の確認を行うほか、三重障害者職業センターや三重県雇用開発協会等が主催するセミナー等にも参加していますが、障がい者への対応等について、まだまだ学ぶことが多い状態です。

また、障がい者職業生活相談員を配置し、障がいのある従業員との対話や、担当責任者等からの相談を通して各事業所のサポートを行い、安定した障がい者雇用を図っています。

障がい者の方が長く働き続けられるよう工夫・配慮されていることはありますか。

障がいのある従業員への接し方については、「理解のある無関心」を基本的な姿勢としており、本当に必要な支援だけを行うようにしています。各事業所では、指示がなくとも、パートの方などが障がい者を気づかって親身に指導や注意を行うなど、自然に手助けができる良好な職場環境が醸成されていると思います。

勤務時間についても、本人の能力や希望を参考に短縮・延長したり、本人の体調に応じて柔軟に休暇を取得できるようにするなど、無理をさせないよう配慮しています。さらに、就業支援のために福祉手当を支給し、学習支援や通勤等にかかる負担軽減を図っています。

その他、営業本部に隣接する物流センターの建築にあたっては、肢体障がい者を雇用するためにスロープやエレベーター等を設置するなどのバリアフリー化を行いました。さらに、低い位置にハンガーラックを設置するなど、従業員による自発的な改善もなされており、障がいのある従業員がより働きやすいような工夫がされています。



お話を伺った
営業本部部長の酒徳さん（左）、
障がい者職業生活相談員の山路さん（右）




物流センター（データ入力業務）の様子

「障がい者雇用の成功のために必要なのは、経営層の理解と従業員の協力のあり方です」と、酒徳さんがお話しくださったように、「人を生かし、仕事を通じて社会に貢献する」「トモに明日を」という企業としての考えをしっかりと定め、その意義を従業員の皆さんが理解し、実践してもらうような指導がされてきたことが、様々な障がいを持つ方を等しく受け入れることのできる、現在の姿勢につながっているように感じました。今後も、従業員の方々と一緒に、障がい者と健常者の区別なく共に働くことのできる職場環境をつくっていかれることを期待します。

三重の労働

編集発行：三重県生活・文化部 勤労・雇用支援室 勤労福祉グループ
〒514-8570 津市広陽町13 TEL059-224-2454 FAX059-224-2455 〆:kinko@pref.mie.jp
平成23年9月20日発行 第213号（通巻380）年6回隔月発行

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。